# 短期集中予防サービス 栄養プログラム 事前研修会

令和6年8月28日 高齡·障害者支援課



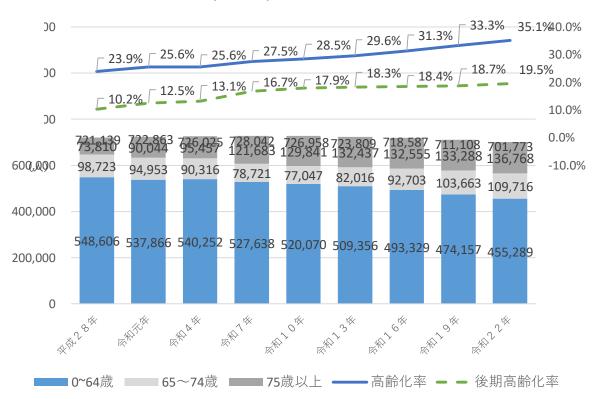


## 1 短期集中予防サービスの 概要

## 第9期高齢者保健福祉計画における取組

#### ~高齢者を取り巻く現状と課題~

#### ≪将来推計人口≫



資料:本市推計人口(令和4年まで)、本市将来推計人口(令和7年以降)

- ●高齢化の進行と生産年齢人 口(担い手)が減少する見 込み
- ●認知症高齢者や医療ニーズ と介護ニーズを併せ持つ高 齢者が増加する見込み
- ●増大する介護ニーズに対応 するための介護人材が不足 する見込み
- ●8050問題などの複合 化・複雑化した課題を抱え る世帯や制度の狭間にいる 人などに対する支援体制の 整備が必要
- ●地域で安心して生活が送れるよう、住まいの確保や災害、感染症等に備えた対策が必要

## 第9期高齢者保健福祉計画における取組

#### 【重点的な取組事項】

高齢者保健福祉に関する総合的な計画として、多くの施策に取り組みますが、市の特性や国等の法制度の背景を勘案して、「介護予防・健康づくりの取組」、「在宅医療・介護連携と認知症施策の推進」、「高齢者を支える基盤の整備」、「包括的な支援体制の整備」を重点的な取組事項とします。

#### (1)介護予防・健康づくりの取組

- ●リエイブルメント(再自立)に向けて、短期集中予防サービスなどの支援を充実するとともに、ボランティア活動や就労的活動による高齢者の社会参加の促進などを行います。
- ●令和5年4月に施行した相模原市健康づくり推進条例(令和5年相模原市条例第26号)の下、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施を推進し、疾病予防・重度化防止等を促進します。

第9期計画期間においては、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく、いきいきと長く暮らせるよう、望む暮らしの実現に向けて生活の再構築を図る短期集中予防サービスの利用を促進します。

同サービスは、リハビリテーション専門職が中心となり、面談を通じて、自信や意欲を引き出し、生活課題の改善や健康維持に必要な助言等を行うことで、セルフマネジメントカの向上とリエイブルメント(再自立)の獲得を目指します。



第9期相模原市高齢者保健福祉計画の概要より抜粋

## 相模原市における介護予防の取組~再自立への方向転換~

## リエイブルメントとは

「再びできるようになる」という意 味です。

加齢や病気などで一度生活がしづ らくなってもあきらめず、自分の能 力を最大限に生かして生活を続けら れるようになることを目指します。

#### リエイブルメントのイメージ図



自分のできるできないを正し 自らの健康を自分の力で守っ く理解し、できる範囲で日常 生活をもっと活動的にしま しょう。

ていくために、日頃から健康 を意識した行動を心がけま しょう。(運動や生活習慣)

## 相模原市における介護予防の取組~再自立への方向転換~



## 相模原市における介護予防の取組~再自立への方向転換~

くこれから>

リエイブルメント型サービスの場合



### 「いきいきとした自分らしい暮らし」を取り戻す方法が3か月で身につく!

# 短期集中予防サービス

~リエイブルメントプログラム

リエイブルメントとは、「再びできるようになる」という意味です。 住み慣れた地域で、自分らしく、自立した日常生活が続けられるよう、 様々な専門職と一緒に3か月間取り組みます。



要支援1・2の認定者 基本チェックリストの該当者

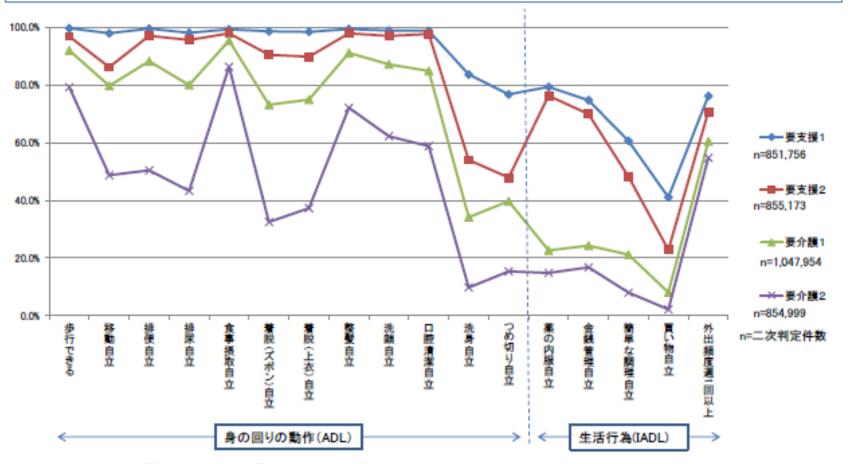


※短期集中予防サービスは

介護予防・日常生活支援総合事業の「サービス・活動事業」のうち、 「通所型サービス・活動C」にあたります

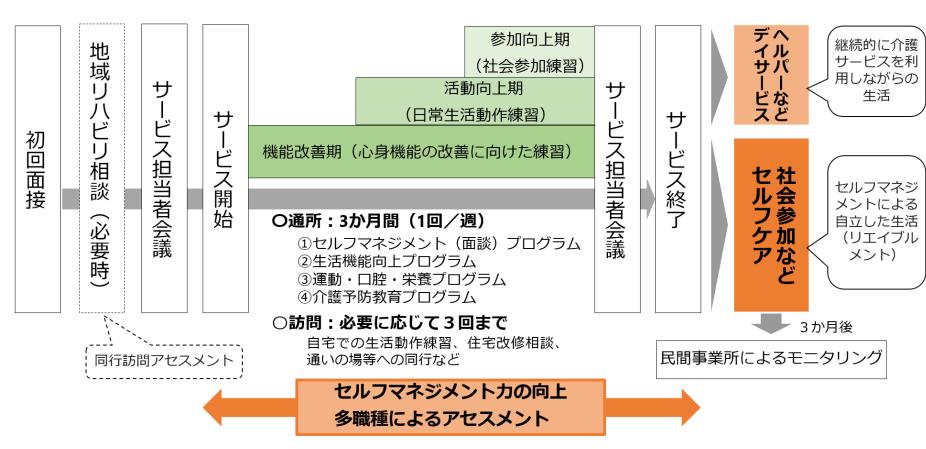
### (参考)要支援1~要介護2の認定調査結果

要支援者のほとんどは、身の回りの動作は自立しているが、買い物など生活行為の一部がしづらくなっている。



- ※1 「歩行できる」には、「何かにつかまればできる」を含む。
- ※2 平成23年度要介護認定における認定調査結果(出典:認定支援ネットワーク(平成24年2月15日集計時点))

## 短期集中予防サービスの概要



### リエイブルメントプログラムの効果が高い3つの理由

### リハビリテーション専門職による支援

理学療法士や作業療法士が、身体の状態を評価して生活のしづらさの原因をつきとめます。また、 生活機能を向上させる個別プログラムを作成し、自分自身で取り組めるように支援します。

### 

#### 運動プログラム





一人一人に合わせた運動プログラムを作成し、 自宅でも取り組めるように、資料を見ながら練習 を行います。

プログラムは、無理なく継続できるよう、段階 的にステップアップをしていきます。

#### 生活動作練習プログラム



しづらくなった掃除 や買い物など、具体的 な生活動作の練習を行 います。また、杖や歩 行器などの福祉用具の 利用も検討します。

#### 口腔プログラム



歯科衛生士又は言語 聴覚士が、口腔の状態 を評価し、適切なケア の仕方などのアドバイ スを行います。

期間中、1~3回実

#### 栄養プログラム

管理栄養士が個人の栄養状態、健康状態、食事内容に応じた個別指導を 実施します。期間中1~3回実施します。

## リエイブルメントプログラムの効果が高い3つの理由

## ※1対1による専門職との個別面談

毎回、個別での面談時間を設け、ご本人の想いをお聴きしながら、望む暮らしの実現に向け、 これから取り組むことについて一緒に考えます。また、日々の生活を振り返りながら、活動的な生 活が送れるように、セルフマネジメント(自己管理)力を高める支援を行います。





1週間の生活をシートに記入し、通所日 以外の6日間の過ごし方についてリハビリ テーション専門職と、一緒に考えます。

また、自信をもって生活ができるように ご本人の強みやできていることなどをお伝 えします。

### リエイブルメントプログラムの効果が高い3つの理由

## ☆社会参加に向けたサポート

サービス終了後も、地域活動や趣味、スポーツ、ボランティアなど自分がしたいことを選択し、住み慣れた場所で、いきいきと自分らしく暮らせるように、社会参加に向けたサポートを行います。

### 訪問プログラムでは、

自宅内での生活動作練習や、 住環境の調整、社会参加に向け た外出経路の確認なども、通所 プログラムと併せて必要に応じ て行います。





## 今後の本格実施について

開始時期

令和6年10月~

対 象

要支援・事業対象者の新規認定者

### 相談窓口

- ・各地域包括支援センター
- ・各高齢・障害者 相談課

、 状態に応じた 適切なサービ スをご案内し ます。



必要時

#### 地域リハビリ相談

必要時に、リハビリ 専門職による相談を 別途、行います。

## 短期集中予防サービス

**3**か月で自分にあった生活や運動が 身につくオーダーメイドプログラム

前みたいにスーパーに 買い物に行けるように なりたいなぁ。



その目標の達成に向けて、 取り組むことを一緒に 考えていきましょう!

利用者の約**72**%が介護サービス を必要としない状態にまで改善! (令和4年度実績)

・理学療法士等のリハ ビリ専門職による個別 面談

・管理栄養士や歯科衛 生士等による栄養・口 腔相談

など

### 住み慣れた地域で いつまでも暮らし続ける



短期間で 自信と能力を 回復し地域へ

費用

通いの場のほか、趣味 活動やスポーツなど、 好きなことを自分自身 で選択し、生きがいを もって暮らします。 2024(令和6年) 7.15

No.1533

毎月1日・15日発行

# 広報さがみはら

# いきいきとした



#### 介護予防のサービスが変わります

「みんなで支えあい 地域の力が育む 人にやさしいまち さがみはら」を目標に、 市の介護予防のサービスは、短期隻中予防サービスを中心とした内容に変わります。

□高影·障害者支援する042-769-9249

### あなたの再自立(リエイブルメント)を応援します

市は、加齢や病気などで生活がしづらくなった高齢者が、諦めずに自分の能力を最大暖に 生かして再び望む生活ができるようになること(再自立)を目指します。

市では再自立に向けた支援や、本人が希望する生活を続けられるよう「自信と意欲」を向上 するため、介護予防のサービス体系の中心を短期集中予防サービスに変更するとともに、ボ ランティア活動や就労的活動などで高齢者の社会参加を促進します。



#### 短期集中予防サービス リエイブルメントプログラム

実施場所に3カ月間適所(送迎あり)し、個別面談で個人の思いを聴き ながら目標を設定して、さまざまな専門職と一緒に生活課題の改善や健 農維持に取り組むオーダーメードのプログラムです。自信や意欲を引き 出すことで、自らの管理能力を上げて、リエイブルメントを目指してい くものです。

団要支援1・2の人、生活機能の低下が見られる人<sup>®</sup> ※原生労働省が定める基本チェックリストで判断

#### 相談窓口

各地域包括支援 センター など

> 状況に応じた 適切なサービ スを案内

#### 必要時

#### 地域リハビリ相談

リハビリ専門職が相談 を実施

#### 短期集中予防サービス

リハビリ専門動が個別に函数し、プログラム を作成。管理栄養士や維料衛生士などが栄養 や□腕の複膜に応じます。



前みたいにスーパー に買い物に行けるよ うになりたいなぁ

理学療法士・作業療法士

目標の連成に向けた 取り組みを一緒に考 えていきましょう!

#### リエイブルメントとは

「再びできるようになる」という意味 で、本人の力を引き出すケアとリハビ リテーションを徹底する考え方です。 「自立した生活をする」という複雑者自 身の意思のもと、生活課題の解決と生 活の質を上げるために、多数種の協働 で再自立を促す支援が進められます。

#### サービス終了後も 住み慣れた地域で暮らし続ける

好きなことを自分自身で選択し、生きがい を持って暮らせるように、社会側加に向け サポートします。













#### 利用者の声(令和5年度)

5年前に総計画を据こして、古事身務度で 車椅子生活になり、話すことも難しくなりま した。続けていた太極難はやめないといけな いと思いました。短期集中予防サービスで[再 び太極拳や問題の舞台に立っこと」を目標にし 👪

て、一道一道はありましたが、プログラムの 会井さん 運動は全てできるようになりました。運動ができるようになって も、自分自身で稼けることの大切さを知りました。

太極拳の門間当時は腕を上げられませんでしたが、参加してい るうちにできるようになり、会年10月の報告に立ちました。11 月の問題の舞台にも出ますよ。前向きに取り組めていると感じて います。

が人治療の制作用や歩行路のふらつきが何にな り、外出の機会が減っていました。どう頑張って いいのか分からないときに、地域包括支援センター にサービスを紹介されました。

白信と能力を

回復し地域へ

自分の体の状況を知り、届くなったところだけ でなく良いところも見っけて、毎回、面談で励ま 種質さん してくれるのがこのサービスの特徴です。不安や厳しさをスタッフなど に伝えたところ、共鳴や動きしだけでなく、笑いに変えてくれることも 多く、1人じゃないという安心療がありました。絵稿を飾めかけていた **春運製室にも集役的に選えるようになり、 前向 きに乗り切るう [ 陶理** せず病気と付き合っていこう」と、感謝の気持ちを忘れずに過ごすこと ができています。

このサービス利用者の 72% がが、介護のサービスを利用せず、再びいきいきと生活ができるようになっています。

※令和4年確市の実績

#### 市の介護予防の取り組み

今年3月に策定した第9期市運動者保健福祉計画では、「介護予防・健康づくりの取組」を重点的な取り組み の1つとしています。10月1日から、新たに要支援などの認定を受け、デイサービスなどを希望する場合は、 原則として最初に短期集中予防サービスを利用します(難病、末期がん、駆知便のある人を除く)。



▲市田



## 2 短期集中予防サービスの 栄養プログラムについて



## 栄養プログラムの概要

- ・管理栄養士が、対象者1人当たり、全12回の うち1~3回の頻度で支援を行います。
- 初回は約30分、2~3回目は約20分とします。
- ・別途ケース情報の把握、事前事後の準備時間 を要します。
- 個人の栄養状態、健康状態、食事内容、嗜好に 応じた個別指導を実施します。

## 利用者について

- ・対象となるのは、要支援1・2の認定者及び 基本チェックリストの該当者
- 事業所によって受け入れ人数は異なる
- 利用者によって事業の開始時期は異なる



## 集団型と個別型について

	集団型	個別型
1開催当たりの利用者の人数	2人以上	1人
1開催当たりの開催時間(※)	2時間程度	1時間程度
1開催当たりの 最大面談件数	3件	

※事前カンファレンスや記録の作成により前後する可能性があります。



## 事業所との日程調整について

- 派遣希望がある事業所より、派遣を希望する 管理栄養士へ直接連絡が来ます。
- 派遣可能な場合は、派遣日時、集合場所、 当日実施件数等の聞き取りをします。
- 当日は指定された集合場所へ行き、「短期集中予防サービス」の担当者と顔合わせします。
- ・栄養の面談終了後、事業所の担当者へ申し送り、 使用した資料を返却して帰宅します。



ここからは、記録の書き方のポイントに ついて説明します。

資料2「栄養プログラム実施報告書」を 見ながらご確認ください。



#### 面接前に記入

											短期	集中	中予	防力	<b>†</b> —	ビス												
									ż	Ŕŧ	ŧブロ	コク	"ラ	<u>ل</u> ا	実拼	報	告	<u></u>										
ふりが	な									#	年月	Ħ		大		昭			年			月			Ħ			歳
									男		要	介護	翻	Ē			3	表数	<b>₩</b> 1		要	支援	2		Ę	棠	象	Ħ
氏名	í	0										病谷	等															
									女		かた	hij.	tlc	医			有		無	但	栄養	リス	(ク)	Ķ		有		無
												жГ	вмі	18.	5未)	削力	JC,	67 F	以内	JIZ2	~3k	cgl)J	<u></u> ±σ.	(体)	減少	) JIZ	該当	
1.担当	者																											
	÷	和		年		月		日			令	和		年		月		日			令	和		年		月		日
初回			:		~		:		2[	1			:		~		:		3厘	目			:		~		:	
	記	(者:									記入	者:									記入	者:						

【確認書類例】(資料4利用者情報の事前確認資料例 参照)

- ·利用者基本情報
- ・介護予防サービス・支援計画書
- ・初回評価・サービス計画書
- ・口腔プログラム実施報告書 等
- ※事業所によって揃っていない書類がある場合があります

面接年月日、面接の開始時間及び終了時間、面接の担当者名を記入します

### 利用者基本情報(資料4参照)

						作成担当社	F .
基本情報)						IFACE 当了	4 -
相談日	年	я в	( )	来所その他		話 )	初 回 再来 (前 / )
本人の現況	在宅・入院	記又は入所中	g (				)
7月5 † 本人氏名			男・女	и т	S	年月	日生 ( ) 裁
住 所			Ø1		Fax		( )
日常生活	障害高齢者	者の日常生活	舌自立度	自立・J1	· J:	2 · A 1 · A	2 · B 1 · B 2 · C 1 · 2
自立度	認知症黨劃	着の日常生活	舌自立度	自立・1	·II a	• Пь • Ш	a - 111 b - 1V - M
総合事業	基本チェッ	クリスト記	:入結果:	事業対象者	の該	当あり・事業	業対象者の該当なし
情報 障害等認定 本人の	身障(	クリスト記 )、療育(	)、料		難痕	TOTAL WILLIAM W	
障害等認定	身障(	)、療育(	)、料	神().	難痕	TOTAL WILLIAM W	主宅改修の有無
障害等認定 本人の	身障(自宅・借家	)、療育(	)、料	神().	、難病 )有無	( )階、信	主宅改修の有無
障害等認定 本人の 住居環境	身障(自宅・借家	)、療育(	)、料	を・自室の	対有無	( )階、信	© ペネ人、○ マ女性、 □ 男性 ● 毎 「死亡、 かっキー・パーソン 主な語者に 「手」 新介語者に 「事」
障害等認定 本人の 住居環境 経済状況 来 所 者 (相談者) 住 所	身障(自宅・借家	)、療育(	)、料	を・自室の	、難和)有無	( )階、(	
障害等認定 本人の 住居環境 経済状況 来 所 者 (相談者)	身障(自宅・借家	)、療育(	)、料 ・集合住 障害年金 続	を・自室の	対	( )階、(	© ペネ人、○ マ女性、 □ 男性 ● 毎 「死亡、 かっキー・パーソン 主な語者に 「手」 新介語者に 「事」
障害等認定 本人の 住居環境 経済状況 来 所 者 (相談者) 住 所	身障( 自宅・借家 国民年金・	)、療育 ( デ・一戸建て 厚生年金・	)、料 ・集合住 障害年金 続	(神( )。 完全・自室の ○・生活保護	対	( )階、(	© ペネ人、○ マ女性、 □ 男性 ● 毎 「死亡、 かっキー・パーソン 主な語者に 「手」 新介語者に 「事」
障害等認定 本人の 住居環境 経済状況 来 所 者 (相談者) 住 所	身障( 自宅・借家 国民年金・	)、療育 ( デ・一戸建て 厚生年金・	)、料 ・集合住 障害年金 続	(神( )。 完全・自室の ○・生活保護	対	( )階、(	© ペネ人、○ マ女性、 □ 男性 ● 毎 「死亡、 かっキー・パーソン 主な語者に 「手」 新介語者に 「事」

今までの生活				
	1	日の生活・す	ごし方	趣味・楽しみ・特技
現在の生活 状況(どんな				
暮らしを送				
っているか)			1	
-	時間	本人	介護者・家族	
				友人・地域との関係

#### 《現病歴・既往歴と経過》(新しいものから書く・現在の状況に関連するものは必ず書く)

年月日	病名	医療機関・医師名 (主治医・意見作成者に☆)	経過	治療中の場合は内 容
年月日		Tel	治療中 経観中 その他	
年 月 日		Tel	治療中 経観中 その他	
年月日		Tel	治療中 経観中 その他	
年 月 日		Tel	治療中 経観中 その他	

#### (現在利用しているサービス)

公的サービス	非公的サービス
7.7.7.5.5.5.	V0.V0.0004.844 - 31.0000

地域包括支援センターが行う事業の実施に当たり、利用者の状況を把握する必要があるときは、基本チェックリスト記入内容、要介護認定・要支援認定に係る調査内容、介護認定審査会による判定結果・意見、及び主治医意見書と同様に、利用者基本情報、アセスメントシートを、居宅介護支援事業者、居宅サービス事業者、総合事業におけるサービス事業等実施者、介護保険施設、主治医その他本事業の実施に必要な範囲で関係する者に提示することに同意します。

平成 年 月 日 氏名



## 介護予防サービス・支援計画書(ケアマネジメント結果等記録表) (資料4参照)

No. 利用表名		(男・女) 歳 1	224AB #	A 8 1	またの有効原理 年	Л 8~ #	物数・紹介	・機能 認定済・申	要支援1	- 要支援 2	<b>李维州</b>	**
計画作成表式名 計算作成(食更)( 目標とする生活		A 自 (数量	<b>市成日</b>		0場合:對巡传成會學業者 自) 担急地域包		(連絡念)					
18						1#						
アセスメント保持		- Taran and and		課機に対する			1		支援計開			_
現在の状況	と 本人・家族の	(青景・原図)	総合的課題	音響と具体策 の提案	具体策についての意向 本人・家族	848	責機についての 支援のポイント	本人等のセルフケアや草 袋の支援、インフォーマル セービス (開催サービス)	介護機能サービス 又は地域支援事業 (総合等象のサービス)	サービス	事業等 (利用先)	AR
S. Heroff.		O# CB					()					
日常生活(家庭生活)( て	190	D# D#					( )					
277												
社会参加、対人関係	23770	D# D#					( )					
要産管理について	-	D# D#					( )					1
健康状態について 口主治医療見費。例		等全路主工九州北京			(本果行うべき支援が実施 妥当な支援の実施に向け			総合的な方針:生活不及	発病の改善予助のポ	121		
基本チェックリス   地域支援事業の項目	は必要な事業プロ	()ノ(質関項自義)を グラムの特内の数字に	○印をつけて下さ	M#3E	(8.8)			計画に関する問意 上記計画について、F	意味いたします。			_
	本点 の事	の映内 禁じこも ケア リテの	物室れ ラウ	more than a second	(WEG)							



## 初回評価・サービス計画書(資料4参照)

### 民間活用型生活機能向上サービス初回評価・サービス計画書

氏名		梢
	47GST/F99461	
	初回評価美施日	

☆ 体力測定結果など ☆

評価項目		初回	最終	評価項目		初回	最終
握力 (kg)	右			30秒立ち座りテスト	(回)		
近り (Kg)	左			C-45-45-05-88 (50-)	通常		
8988 H C ++ (\$A\	右			- 5m歩行時間(秒)	最大		
開眼片足立ち(秒)	左			Timed up & Go (₹	(4		
主観的健康観				主観的幸福感(点	)		
※1:とても健康である 2:求あ健康	である 3:8	まり健康でない	4:健康でない	※0点:幸せでない~10点:幸せ	たある		

☆ 改訂日本版フレイル基準 ☆

項目		初回	最終
6か月間で2~3kg以上の体重減少			
握力:男性28kg未満、女性18kg未満			
(ここ2週間)わけもなく疲れたような感じがする			
通常歩行速度が1.0m/秒未満			
「軽い運動・体操」と「定期的な運動・スポーツ」の両方とも ていない	、週に1日もし		
0項目:健常、1~2項目: プレフレイル、3項目以上: フレイル	合計点数	0	7

項目	判断基準	初回	最終
食事の用意	0:していない 1:まれにしている		
食事の片付け	2:1~2回/週 3:回以上/週		
洗濯			
掃除や整頓			
力仕事			
買物	0:していない		
外出			
屋外歩行	3:1回以上/週		
趣味			
交通手段の利用			
旅行			
庭仕事	0:していない 1:時々2:定期的 3:植替等も実施		
家や車の手入れ	0:していない 1:電球取替、ねじ止め 2:ペンキ塗り、模様替え、洗車 3:家の修理、車整備		
読書	0:読んでいない 1:まれに 2:1回/月 3:2回以上/月		
仕事	0:していない 1:1~9時間/週 2:10~29時間/週 3:30時間以上/週		
	合計点数		



金	录の	ボー	12	ハ	•					面接。	中に言	· 【入		
.身体	状況													
	身長:		cm		身長:			cm	(初回	→終了時	)体重の	)変化		
初回	体重:		kg	終了時	体重:			kg		増加		벍		減少
케빌	BMI:		kg/m²	Max 7 but	BMI:			kg/m²	理由(「	増加しまた	は「減少	り」の際	に記り	U
	□ 聞き取り	□ sty	N			き取り	計測	]						-
	SZDMIO1 EZ	: 2 <b>差</b> 9 → 「455 <del>+ +</del> /	<b>通信ロシ</b> し。	<b>アマセフ</b> ・	of the last									

聞き取り又は計測により「身長」「体重」「BMI」を記入します。 継続支援を行った場合は、終了時の「身長」「体重」「BMI」、体重 の変化を記入します。

体重が「増加」または「減少」した場合は理由を記入します。

※面談が1回で終了した場合は、「終了時」「体重の変化」の記入は不要です。

面	談	中	に	記	入
ш	叹火	. 1 .	1		ノヽ

3.現在の状況について(初回)								
食欲について 1 0	কেই ে	М	ふつう		ない			
<b>連眠について</b>	とれて	্যত		ふつう		とれてい	いない	
排便について	下痢		ふつう		便秘			
3ヶ月以内に、手術や食事療法の必要な入院をしましたか	はい		いいえ					
3ヶ月以内にで食欲不振、消化器疾患、消化器系の問題、咀嚼、嚥	はい	(具	体的に:					)
下困難などで食事量が減少しましたか	いいえ							
呼吸器疾患、消化器疾患、糖尿病、腎臓病などの	はい	(具	体的に:					)
慢性的な病気はありますか	いいえ							
食事は楽しいですか	はい		いいえ					

聞き取りにより該当する項目にチェックをします。



面談	中	に	記	入
四吹	- 1 -	~		ノヽ

4.食事の内容について(初回)				1	
1日に食事を何回とつていますか(間食を除く)	10		2回		3回
乳製品(牛乳・チーズ・ヨーグルト)を毎日1品以上摂取しています	はい				
か <sup>、</sup>	いいえ				
豆類又は卵を毎週2品以上摂取していますか	はい		いいえ		
肉類又は魚を毎日摂取していますか	はい		いいえ		
果物又は野菜を毎日2品以上摂っていますか	はい		いいえ		
水分(水、ノンカフェインのお茶など)を1日どのくらい摂っていま	コップ3	杯牙	满		コップ3杯以上5杯未満
すか	コップ5	杯以	LE		
特記事項					

聞き取りにより該当する項目にチェックをします。

「特記事項」には聞き取りを行う中で記録しておく事項や本人のコメントで印象的だったことを記入します。

スペースがあれば1日の食事記録をこちらに記入しても構いません。



面談中又は面接後に記入

5.実施記録 <1回目>	
目標	
状況等 (本人のコメント)	
アセスメント(分析)	

### 【目標】(継続支援時のみ)

本人の意見を尊重し、次回の面談までに実施する行動目標を記入します。

### 【状況等】

初回聞き取りにより把握したことから目標に関する状況を抽出して記入します。

### 【アセスメント】

【状況等】に対する強みや弱みを記入します。



面接中又は面接後に記入

指導内容					
反応等備考					
次回計画・他職種への 伝達事項等	□ 継続 □ 終了	0	^ 0	- 1	

### 【指導内容】

指導した内容を記入します。

指定様式以外で使用した媒体等があれば事業所へ提出してください。

### 【反応等備考】

指導内容や行動目標に対する本人の反応を記入します。

### 【次回計画】

継続/終了を選択し、継続の場合、次回確認する項目、伝達事項を記入します。

## 個人情報の取扱いについて

- 記録用紙の下書きとしてメモ用紙を使用した場合、個人情報が含まれる場合は持ち帰りは禁止です。
- ・継続支援を行うためメモを残しておきたい場合は、次回指導時まで事業所へ預ける等、事業所の 担当者と相談してください。



## 任意様式① 食事聞き取りシート

7.食事聞き	取りシー	ト(任意様式)		
○朝食	:	頃 ———	○就寝時間 :	
			○起床時間 :	
○昼食	:	頃	調理担当者	
			□ 本人以外(	)
			服薬状況(食事に影響があるか)	
			<u>無</u>	
			□ 有(	)
○夕食	:	頃		
			配慮が必要なこと	
			── 小さくしたり刻まないと食べられない食品がある。	る
			□ 飲み込みにくいとかんじることがある	
			□ 除去食品(	)
			□ その他	
		した時間も併せて記え		



## 任意様式② 10食品群チェック

10食品群チェック													
魚介類 魚(開きや干物も含む)、イカ、タコ、貝類、ツ ナ缶、ちりめんじゃこ、ちくわなど	海藻類 海藻、ひじき、もずく、海苔など												
油脂類 炒め物、パンにバター、ドレッシングなど	いも類 じゃがいも、さつまいもなど												
タ類 牛、豚、鶏、ハム、ソーセージなど													
牛乳 牛乳、ヨーグルト、チーズ、 スキムミルクなど	大豆・大豆製品 納豆、豆腐、厚揚げ、枝豆など			↓1(	2食	品郡	<b>羊チ</b> .	エツ	クシ	/—¦	<b>~</b> (1	週間	引分)
野菜・きのこ ほうれん草、にんじん、かぼちゃなどの 緑黄色野菜を意識する	果物類 朝食や間食に。ドライフルーツなど		<u>†</u>	đħ	(=	*	40	か、	(= \\\	t=	t:	<	
毎日食べている場合は1点、それ以外を0点とし 合計10点満点で評価します	合	日付	さかな		(S)	牛乳乳製品	<b>会</b> はい	海藻	€ Uŧ	たまご	大豆製品	くだもの	○の数 (点)
目標は1日 <u>7点以上</u> です!	and the state of t	例							$\odot$	0	3		7 🛦
		1 🗆 🛭	•		<b>O</b>		•	V	$\odot$	0	8		Ψ.
↑10食品群チェックシー	ト(1日分)	2 🗆 🛭	•		•			V	$\odot$	0	3	Ö	<u>,t.</u>
		3 □ ■	•		<b>S</b>			V	$\odot$	0	3	Ö	<u>'</u> F'
		4 🗆 🛭	•		<b>O</b>			<b>V</b>	$\odot$	0	3	Ö	<i>"ሞ"</i>
		5日目	•		<b>O</b> b		•	<b>V</b>	$\odot$	0	3	ď	Ÿ.
		6 ⊟ 🛭						28-	$\bigcirc$				

「さあにぎやかにいただく」は、東京都健康長寿医療センター研究所が開発した食品摂取多様性スコアを構成する10の食品群の頭文字をとったもので、ロコモチャレンジ!推進協議会が考案した合言葉

なお、このチェックシートは、東京都健康長寿医療センターと ILSI Japan の共同研究の成果物を基に作成されました。

## 継続支援とする例

【必須条件】 低栄養リスク該当者 (BMI18.5未満かつ6ヶ月以内に体重減少2~3kg)

## 【状況により継続する例】

- ・食事内容に問題があり、継続的に確認を行う必要があるとき (アセスメント項目から継続支援が必要とするとき)
- ・ご自身からの訴えがあるとき
- ・話好きな方で、時間内に十分説明できなかったとき
- ・アセスメント表の内容を十分に聞き取れなかったとき



## 謝礼について

単価

1件当たり5000円(交通費込み)

面接時間

初回:30分、2~3回目:20分

1開催当たりの最大相談件数:3件(集団型の場合)

事前情報収集や記録の作成等の時間を含みます。

※今後、事業見直し等により単価は変更になる可能性があります。



## 謝礼支払いの流れ

1月毎に翌月10日までにメールで以下を報告

- ·訪問事業所名
- ·訪問日時
- ・件数

## <メール文例>

相模原市 高齢・障害者支援課 加藤さま↓

●月の勤務状況について報告します。↓

●月●日(月) (事業所名) ●件↓

●月●日(水) (事業所名) ●件↓

●月●日(月) (事業所名) ●件↓

以上、よろしくお願いします。↓

相模花子↓

## <報告先>

相模原市 高齢・障害者支援課 管理栄養士宛 (宛先と差出人の明記をお願いします。)

k-s-shien@city.sagamihara.kanagawa.jp



## 実施事業所一覧(令和6年4月~) 栄養士派遣希望事業所

事業所名		形態	定員	X	合計	見込量 (R6.10 ~)
1	けやきの里	集団	5			
3	介護老人保健施設ケアガーデンさがみ湖	個別	4	緑	14	50
4	Work_With_モノリス	個別	3			
5	介護老人保健施設とき	個別	2		41	
9	ING訪問看護ステーション	個別	1	中央		72
10	Utensil_With_モノリス	個別	3			
11	訪問看護ステーションありてい	個別	2			
12	すきっぷコンパスウォーク・デイサービス	集団	20	南	52	78
14	Up Life 小田急相模原店	集団	10			

これから派遣登録をする場合は 右記のURL又はQRコードから 申し込みをお願いします。



https://logoform.jp/f/IO7NI

直営会場(ウェルネスさがみはら)(月曜日14時〜) での見学を希望する場合はご連絡ください。

担当:高齡·障害者支援課 加藤

042 - 769 - 9249

